別紙－３①

工事成績採点の考査項目別運用表（土木・農地）

【記入方法】　該当する項目の　・　マークをドロップダウンから，評価すべき項目なら■を，評価すべき項目でないなら□を，評価対象外なら空白を選択する。　（検　査　職　員）

考査項目	細　　別	a	b	c	d	e
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
2．施工状況	Ⅰ．施工管理	「評価対象項目」 ・ 約款第19条第1項(1)から(5)に基づく設計図書の照査を，適切に処理していることが確認できる。 ・ 施工計画書の記載内容と現場施工方法が，一致していることが確認できる。 ・ 施工計画書が工事着手前に提出され，設計図書及び現場条件を反映した内容となっていることが確認できる。 ・ 計画内容に変更が生じた場合は，その都度当該工事着手前に変更計画書が提出されていることが確認できる。 ・ 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫がみられる。 ・ 段階（立会）確認等の手続きが，適切であることが確認できる。 ・ 建設廃棄物の処理及びリサイクルへの取り組みが，適切に行われていることが確認できる。 ・ 建退共の証紙が適切に配布され，管理されていることが確認できる。 ・ 作業分担と責任の範囲が書面等で確認できる。 ・ 施工体制台帳，施工体系図が的確に整備されている。 ・ 社内検査が計画的に行われ，出来形・品質等の管理を工事全般にわたって十分に行っていることが確認できる。 ・ 社内の管理基準により，日常的に管理されていることが確認できる。 ・ 工事材料の品質に影響が無いよう，工事材料を整理・保管していることが確認できる。 ・ 工事の関係書類及び工事記録写真等を不足なく，適切に整理していることが確認できる。 ~~その他（~~　　　　） 評価値が90％以上 ……………………… a 評価値が80％以上90％未満 ………… b 評価値が60％以上80％未満 ………… c 評価値が60％未満 ……………………… d ※評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			・ 施工管理に関して，監督員から文書による改善指示を行った。 上記該当であれば　……… d ・ 施工管理に関して，監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当であれば　……… e 評価値 ＝ 評価する項目 / 評価対象項目 ×100 ＝ 0 / 0 ×100 ＝　　％ 評　　価	

Ver.D1505

別紙－３②

工事成績採点の考査項目別運用表（土木・農地）

（検　査　職　員）

考 査 項 目	細　　別	a	a’	b	b’	c	d	e
下水道管更生工事 ３．出来形及び出来ばえ	Ⅰ．出来形	必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており，測定値が規格値を満足し，そのばらつきが規格値の概ね５０％以内で，下記の「評定対象項目」の４項目以上が該当する。 ※　ばらつきの判断は別紙－４参照。	必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており，測定値が規格値を満足し，そのばらつきが規格値の概ね５０％以内で，下記の「評定対象項目」の３項目が該当する。 ※　ばらつきの判断は別紙－４参照。	必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており，測定値が規格値を満足し，そのばらつきが規格値の概ね８０％以内で，下記の「評定対象項目」の３項目以上が該当する。 ※　ばらつきの判断は別紙－４参照。	必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており，測定値が規格値を満足し，そのばらつきが規格値の概ね８０％以内で，下記の「評定対象項目」の２項目が該当する。 ※　ばらつきの判断は別紙－４参照。	必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており，測定値が規格値を満足し，ａ～ｂ’に該当しない。 ※　ばらつきの判断は別紙－４参照。	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。
	出来形	「評価対象項目」 ・ 出来形管理が容易に把握できるよう，出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。 ・ 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 ・ 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 ・ 写真管理基準の管理項目を満足している。 ・ 出来形管理基準が定められていない工種について，監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 ・ その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）						

評価する項目数	評　　価

Ver.D1505

品　質　一　覧　表

ページ	項目	細項目	ページ	項目	細項目	ページ	項目	細項目
別紙－３③	コンクリート構造物	【共通・無筋】【鉄筋】に分類、二次製品構造物を別項目	別紙－３⑫	コンクリート橋工事（ＰＣ及びＲＣを対象）	【共通】【製作関係】【架設関係】に分類	別紙－３㉑	電線共同溝工事	－
別紙－３④	コンクリート二次製品構造物工事	【共通】【擁壁類（補強擁壁は除く）】【用排水施設】【管水路工事】に分類	別紙－３⑬	塗装工事（工場塗装を除く）	－	別紙－３㉒	機械設備工事	－
別紙－３⑤	土工事　（盛土工事等）	【共通】【掘削等】【盛土・築提等】に分類	別紙－３⑭	植栽工事（公園・街路）		別紙－３㉓	電気設備・電気通信工事	－
別紙－３⑥	土工事（補強盛土）	－	別紙－３⑮	防護柵設置工事	－	別紙－３㉔	消雪工事	【削井工・取水施設工】【散水工】に分類
別紙－３⑦	鋼橋工事	【工場製作関係】【架設関係】に分類	別紙－３⑯	標識等設置工事	【共通】【視線誘導標・道路標識】【照明灯】に分類	別紙－３㉕	下水道工事	【共通】【開削工】【推進工】【シールド】に分類
別紙－３⑧	舗装工事	【路床・路盤工関係】【アスファルト舗装関係】【コンクリート舗装関係】【橋面舗装】に分類	別紙－３⑰	区画線等設置工事	－	別紙－３㉖	下水道管更生工事	
別紙－３⑨	法面工事	【共通】【種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係】【コンクリート又はモルタル吹付工関係】【現場打法枠工関係】【アンカー工】に分類	別紙－３⑱	維持修繕工事	【舗装道維持修繕工事】【道路維持修繕工事】に分類	別紙－３㉗	試掘工事	
別紙－３⑩	基礎工	【共通】【深礎工】【既製杭関係（コンクリート・鋼管・鋼管井筒等）】【場所打ち杭関係】に分類	別紙－３⑲	解体工事	－	別紙－３㉘	公園施設工事	
別紙－３⑪	地盤改良工事	【共通】【薬液注入工】【高圧噴射攪拌工】に分類	別紙－３⑳	港湾築造工事（浚渫，海岸築造工事を含む）	【共通】【浚渫・床掘関係】【マット・帆石，捨て石及び均し関係】【堤体，上部関係】【杭及び矢板控工関係】に分類	別紙－３㉙	その他工事	

（品質の評定に際し）

評価は、主たる工種で評定します。主たる工種は、概ね６０％以上とします。
従って、主たる工種の割合が、概ね４０％以上６０％未満の場合は、２工種で、概ね４０％未満の場合は３工種で評定することができます。
工種は、最大３工種で、２工種の算定は、次のようになります。
（例）２工種の場合、（１工種目のＡ／Ｂ＋２工種目のＣ／Ｄ）＝（Ａ＋Ｃ）／（Ｂ＋Ｄ）とし、その結果を評価値とします。

別紙－３ ③ １

（検　査　職　員）

考査項目	工種	a	a’	b	b’	c	d	e
3.出来形及び出来ばえ Ⅱ.品質	コンクリート構造物工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと，評価値から判断する。〈判断基準参照〉 ｛関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験｝ ※ ばらつきの判断基準は別紙―４参照 ☆ 品質が，試験項目，試験基準及び規格値を満足する。					・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば…ｄ	・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。 上記該当あれば…ｅ

「評価対象項目」

【共通】【無筋】

- 設計図書に基づくコンクリートの配合試験または試験練りが行われており，適切なコンクリートの規格（強度・w/ｃ・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。（JISA-5308以外の生コンを使用する場合）
- コンクリート打設時の必要な供試体を採取し，強度，スランプ・空気量等が確認できる。
- 施工条件及び気象条件に適した運搬時間，打設時の投入高さ，バイブレーターによる締固，養生方法等を適切に行っている。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）
- 型枠，支保工の組立が適正で，コンクリート打設後，取り外し時期がコンクリート強度等で適正に管理されている。
- コンクリートの打ち直しや補修の痕跡がない。
- コンクリート打設時に雨水やわき水が適切に処理されている。
- コンクリートの現場養生用の供試体が当該現場のものであることが確認できる。

【鉄筋】

- コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。
- 鉄筋の組立・加工が適切であることが確認できる。
- スペーサーを適切に配置し，鉄筋のかぶりを確保している。
- 鉄筋圧接作業は有資格者が行っている。
- 鉄筋の規格・引張強度・曲げ強度の試験値をミルシート等で確認できる。

※ ただし，ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が３項目以下の場合は……　ｃ

※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は，評価対象項目だけで評価する。

$$評価値 = \frac{評価する項目}{評価対象項目} \times 100 = \frac{0}{0} \times 100 = \square \ \%$$

●判断基準（品質）

評価値＼ばらつき	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超え	
90%以上	a	a’	b	b
75%以上90%未満	a’	b	b’	b’
60%以上75%未満	b	b’	c	c
60%未満	b’	c	c	c

評　価

- クラックがある場合，別紙－４の２項を参照し，評価する。

別紙－３ ③ ２

（検　査　職　員）

考査項目	工　種	a	b	c	d	
３.出来形及び出来ばえ	下水道管更生工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
Ⅲ.出来ばえ	構造物工事	「評価対象項目」 ・ コンクリート構造物の肌が良い。 ・ コンクリート構造物の通りが良い。 ・ 天端仕上げ､端部仕上げ等が良い。 ・ クラックがない。 ・ 漏水がない。 ・ 全体的な美観が良い。				確認項目の該当５項目以上　a 確認項目の該当４項目　……　b 確認項目の該当３項目　……　c 確認項目の該当２項目以下　d

評価する項目数	評　　価

（検　査　職　員）

考 査 項 目	工　種	a	a’	b	b’	c	d	e
３.出来形 及び 出来ばえ Ⅱ. 品 質	コンクリート 二次製品 構造物工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと，評価値から判断する。〈判断基準参照〉 ｛関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験｝ ※ ばらつきの判断基準は別紙―４参照 ☆ 品質が，試験項目，試験基準及び規格値を満足する。 「評価対象項目」 【共通】 ・ 材料の品質規定証明書が整備されている。 ・ ＪＩＳ規格外品について，仕様書の規定する規格，品質を満足している。 ・ 基礎地盤の整形，清掃，湧水処理等が適切に実施されていることが確認できる。 ・ 二次製品の保管，吊り込み，据え付け等に十分注意を払っていることが確認できる。 ・ 土留め，水替工等の仮設が設計図書に基づき適切に施工・管理されていることが確認できる。 ・ 二次製品の受け取りを現場代理人などの責任ある者が，製品を確認し受け取り，損傷のないもので施工されている。 ・ 施工基面は，平滑で，所定の強度が確保されている。（据え付け後に不等沈下で波打っていないこと） 【擁壁類（補強土壁擁壁は除く）】 ・ 胴込コンクリート，裏込材の充填が十分で空隙が生じていない。 ・ 基礎コンクリート及び天端等の調整コンクリートにクラック等の欠陥がない。 ・ 材料の連結，またはかみ合わせが適切である。 ・ 端部における地山とのすりつけが適切である。 ・ 丁張りを二重，三重に設けるなど，法勾配，裏込め材の厚さの確保のため細心の注意をはらっている。 【用排水施設】 ・ 位置，方向，高さ，勾配等について前後の施設又は地形になじみよく施工されている。 ・ 不等沈下防止に配慮して，基礎地盤の締め固めが入念に行われている。 ・ 呑口，吐口，集水桝等の取り付けコンクリートにクラック等の欠陥がない。 ・ 施設の流末は浸食，滞留等が生じないよう処理されている。 ・ 不等沈下の発生がなく，基礎コンクリートの亀裂や目地からの漏水も見られない。 ・ 目地に隙間，ズレがなく，適切に施工されている。 ・ 製品周辺の盛土，埋戻土の施工にあたり，巻出し，転圧が適切に施工されている。					・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば…ｄ	・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。 上記該当あれば…ｅ

（検　査　職　員）

考査項目	工種	内容
3. 出来形及び出来ばえ Ⅱ. 品質	コンクリート 下水道管更生工事 構造物工事	【管水路工事】（一部合成樹脂管路も含む） ・中心線の通りがよい。 ・仕様書で示す条件により締め固めが実施されている。 ・管の両端が均等に埋め戻されている事が確認できる。 ・地盤面，基盤面に不陸が生じていないことが確認できる。 ・管路からの漏水がない。 ・コンクリート構造物にきめ細やかな施工が確認できる。 ・管の接合部では，適切な施工が実施されている。 ・水路の流れに支障なく，平坦，勾配に細心の配慮がなされている。 ・コンクリート基礎の打ち継ぎ目の処理が，仕様書通りに適正に実施されている。

※ ただし，ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が３項目以下の場合は…… c
※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は，評価対象項目だけで評価する。

評価値 ＝ 評価する項目／評価対象項目 ×１００ ＝ 0／0 ×１００ ＝ ［　　］％

●判断基準（品質）

評価値＼ばらつき	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超え	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

評　価

考査項目	工種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ ／ コンクリート 二次製品 構造物工事

「評価対象項目」
・構造物の通りが良い。
・天端仕上げ､端部仕上げ等が良い。
・クラックがない。
・漏水がない。
・全体的な美観が良い。
・小構造物にも細心の注意が払われている。
・材料の連結，かみ合わせがよい。

確認項目の該当６項目以上　a
確認項目の該当５項目　…… b
確認項目の該当４項目　…… c
確認項目の該当３項目以下　d

評価する項目数	評　価

（検　査　職　員）

考 査 項 目	工　種	a	a’	b	b’	c	d	e
３.出来形及び出来ばえ Ⅱ.品質	土工事（盛土工事等）	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと，評価値から判断する。〈判断基準参照〉 ｛関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験｝ ※ ばらつきの判断基準は別紙―４参照 ☆ 品質が，試験項目，試験基準及び規格値を満足する。 「評価対象項目」 【共通】 ・雨水による崩壊が起きないように，排水対策を実施していることが確認できる。 ・筋芝又は種子吹付等を適切に行っている。 ・法面に有害なクラックや損傷がない。 ・建設発生土が適切に管理されていることが確認できる。 ・施工基面が平滑で，所定の強度が得られるように仕上げられている。 ・建設発生土の再利用が積極的に図られ，適切に管理されていることが確認できる。 【掘削】 ・置き換えのための掘削を行うにあたり，掘削面以下を乱さないように，かつ不陸が生じないように施工していることが確認できる。 ・余堀などによる地盤の強度低下を招かないように施工していることが確認できる。 ・切取法面において落石等の危険がないようにゆるんだ転石，岩塊等が除去されている。 【盛土】 ・品質管理の基準，そのための施工方法が明確になっている。 ・盛土材の品質，形状が設計図書に基づくものになっている。 ・段切り等が施工前に適切に行われていることが確認できる。 ・構造物周辺の締固め等の処理を適正に行っていることが確認できる。 ・盛土の締固め管理（密度等）が適切に実施されていることが確認できる。 ・締め固め試験により管理され適正な品質となっている。 ・ＣＢＲ試験等を行っている。 ・施工後の沈下量の測定が適正に実施されている。 ・土羽工の土質が適正である。					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば…ｄ	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。 上記該当あれば…ｅ

（検　査　職　員）

考査項目	工種	内容
3．出来形及び出来ばえ Ⅱ．品質	土工事 下水道管更生工事	※ ただし，ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が３項目以下の場合は…… c ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は，評価対象項目だけで評価する。 評価値 ＝ 評価する項目 / 評価対象項目 ×１００ ＝ 0 / 0 ×１００ ＝ ［ ］ %

●判断基準（品質）

評価値＼ばらつき	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超え	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

評　価

考査項目	工種	a	b	c	d
3．出来形及び出来ばえ Ⅲ．出来ばえ	土工事（盛土工事等）	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

「評価対象項目」

- ・ 仕上げが良い。
- ・ 通りが良い。
- ・ 端部処理が良い。
- ・ 構造物とのすりつけ等が良い。
- ・ 全体的な美観が良い。

確認項目の該当４項目以上　a
確認項目の該当３項目　……　b
確認項目の該当２項目　……　c
確認項目の該当１項目以下　d

評価する項目数	評　価

別紙－３ ⑥ １

（検　査　職　員）

考査項目	工　種	a	a’	b	b’	c	d	e
3.出来形及び出来ばえ Ⅱ.品質	土工事（補強盛土工）	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと，評価値から判断する。〈判断基準参照〉 ｛関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験｝ ※ ばらつきの判断基準は別紙―４参照 ☆ 品質が，試験項目，試験基準及び規格値を満足する。 「評価対象項目」 ・ 雨水による崩壊が起きないように，排水対策を実施していることが確認できる。 ・ 筋芝又は種子吹付等を適切に行っている。 ・ 法面に有害なクラックや損傷がない。 ・ 建設発生土が適切に管理されていることが確認できる。 ・ 施工基面が平滑で，所定の強度が得られるように仕上げられている。 ・ 建設発生土の再利用が積極的に図られ，現場での放置がなく，適切に管理されていることが確認できる。 ・ 基礎が沈下しないように充分な強度があるかが確認されて作業がされている。 ・ 盛土仕上がりの状態が変形のない，はらみのない状態で完成している。 ・ 補強材の施工にずれ，歪み，はらみ，損傷がないことが確認できる。 ・ 盛土の締固を適切な条件（人力機械別，巻出し厚，敷き均し，転圧作業等）で施工されていることが確認できる。 ・ プレキャスト製品・材料等の品質が工場管理資料により的確に確認できる。 ・ 現場条件に応じた排水対策が，施工時を含め適切に講じられていることが確認できる。 ・ 盛土の締固め管理（密度等）が適切に実施されていることが確認できる。 ・ 構造物との取り合いがよく，排水処理が適切に実施されていることが確認できる。					・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば…ｄ	・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。 上記該当あれば…ｅ

※ ただし，ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が３項目以下の場合は…… ｃ
※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は，評価対象項目だけで評価する。

評価値 ＝ $\frac{評価する項目}{評価対象項目}$ ×１００ ＝ $\frac{0}{0}$ ×１００ ＝ ［　　］ ％

●判断基準（品質）

評価値＼ばらつき	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超え	
90%以上	a	a’	b	b
75%以上90%未満	a’	b	b’	b’
60%以上75%未満	b	b’	c	c
60%未満	b’	c	c	c

評　価

Ver.D1505

別紙－３ ⑥ ２

（検　査　職　員）

考 査 項 目	工　種	a	b	c	d	
３. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	下水道管更生工事 （補強盛土工）	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	

「評価対象項目」

- 壁面材の割れ，カケがない。
- 基礎上面の平坦性が良い。
- 天端仕上げ，端部仕上げ等が良い。
- 壁面材の目違い，段差が少ない。
- 構造物の通りが良い。
- 全体的な美観が良い。

確認項目の該当５項目以上　a
確認項目の該当４項目　……　b
確認項目の該当３項目　……　c
確認項目の該当２項目以下　d

評価する項目数	評　　価

（検　査　職　員）

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3．出来形及び出来ばえ Ⅱ．品質	鋼橋工事（PC床版工事はコンクリート構造物に準ずる）	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと，評価値から判断する。〈判断基準参照〉 ｛関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験｝ ※ ばらつきの判断基準は別紙―４参照 ☆ 品質が，試験項目，試験基準及び規格値を満足する。					・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば… d	・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。 上記該当あれば… e

「評価対象項目」

【工場製作関係】

- 鋼材の規格・数量がミルシート等（現物照合を含む）で確認できる。
- 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。
- 素地調整の場合，第１種ケレン後，仕様書に定められた時間内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。
- 塗料の空缶管理が，写真等で確実に空であることが確認できる。
- 塗料の品質が出荷証明書，塗料証明書で確認できる。
- 塗装前の処理が適切に実施されていることが確認できる。
- 仕様書に定められた制限内の気温，湿度の条件下で塗装を行っていることが確認できる。
- 鉄筋圧接作業は有資格者が行っている。
- 放射性透過試験により溶接箇所の試験結果報告書が作成され，適正に実施されたことが確認できる。
- キャンバーが規格どおりに確保されていることが確認できる。

【架設関係】

- ボルトの締付確認が実施され，記録が保管されていることが確認できる。
- ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。
- 支承の据付で，コンクリート面のチッピング及びモルタル付着が確認でき，仕上げ面に水切り勾配がついていることが確認できる。
- ボルトの品質がミルシート等で確認できる。
- 架設の結果，塗装面を損傷していない。
- 架設にあたって，部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。
- 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。
- 現場塗装において，温度，湿度，風速等の確認を行っていることが確認できる。
- 現場塗装で塗り残し，むら等がない。
- 鋼材の保管にあたり変形及び塗装面に損傷を与えないように適切に管理されていることが確認できる。

※ ただし，ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が３項目以下の場合は…… c
※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は，評価対象項目だけで評価する。

$$評価値 = \frac{評価する項目}{評価対象項目} \times 100 = \frac{0}{0} \times 100 = \square\ \%$$

●判断基準（品質）

評価値＼ばらつき	ばらつきで判断可能 50%以下	80%以下	80%を超え	ばらつきで判断不可能
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

評　価

別紙－３ ⑦ ２

（検　査　職　員）

考 査 項 目	工　種	a	b	c	d	
３．出来形及び出来ばえ	下水道管更生工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
Ⅲ．出来ばえ	（PC床版工事はコンクリート構造物に準ずる）	「評価対象項目」 ・ 表面に補修箇所がない。 ・ 部材表面に傷，錆がない。 ・ 溶接に均一性がある。 ・ 塗装に均一性がある。 ・ 全体的な美観が良い。				確認項目の該当４項目以上　a 確認項目の該当３項目　……　b 確認項目の該当２項目　……　c 確認項目の該当１項目以下　d

評価する項目数	評　　価

（検　査　職　員）

<table>
<tr><th>考 査 項 目</th><th>工　種</th><th>a</th><th>a’</th><th>b</th><th>b’</th><th>c</th><th>d</th><th>e</th></tr>
<tr><td rowspan="2">３.出来形
及び
出来ばえ

Ⅱ.

品

質</td><td rowspan="2">舗装工事</td><td colspan="5">☆ 品質関係の試験結果のばらつきと，評価値から判断する。〈判断基準参照〉
｛関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験｝
※ ばらつきの判断基準は別紙―４参照
☆ 品質が，試験項目，試験基準及び規格値を満足する。</td><td rowspan="2">・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。

上記該当あれば…ｄ</td><td rowspan="2">・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。

上記該当あれば…ｅ</td></tr>
<tr><td colspan="5">「評価対象項目」
【共通】
・ 路床・路盤工のプルフローリングを行っている。
・ 軟弱地盤など路床工にとって不適合なものに対し，対応策が取られている。
・ 材料が分離しないようにおろす位置，方法が適正な方法で行われている。
・ 構造物周辺の締固め等が，適切に行われていることが確認できる。
・ 路床・路盤工の密度管理が適切に行われていることが確認できる。
・ 材料の品質証明書が整理されている。
・ 掘削面の凹凸を除去し，均一な路床安定処理工が実施されている。
・ 舗装の出来上がりを左右する路盤工が平坦に出来上がっていることが確認できる。
・ 設計図書に基づき，所定の厚さ管理が行われ，かつ品質管理が実施されている。
・ 構造物とのすり付けが適正に実施され，ゆるんだところがない。
・ 舗装面は凹凸やローラー跡がなく，平坦に仕上がっている。

【アスファルト舗装関係】
・ 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われており，適切な混合物の規格が確認できる。（アスファルト混合物の事前審査制度の適用工事は除く）
・ 混合物の温度管理が，プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。
・ 舗設後，直ちに供用する必要のある現場で，交通解放時の温度管理を適切に行っている。
・ 舗設の各層の継ぎ目が仕様書に定められた数値以上にずらしていることが確認できる。
・ 目地の処理が仕様書に定められたとおりであることが確認できる。
・ 気象条件に適した混合物の運搬方法，舗設作業（締め固め等）の配慮が行われている。
・ 乳剤が均一に散布され，第三者への飛散防止対策，及び構造物への付着などに細心の注意が払われている。
・ アスカーブの施工において細かな配慮がなされ，丁寧に施工されている。
・ 路肩処理，縁端処理の施工において細やかな配慮がなされ，丁寧に施工されている。
【コンクリート舗装関係】
・ 設計図書に基づくコンクリートの配合試験または試験練りが行われており，適切なコンクリートの規格（強度・w/ｃ・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。（JISA-5308以外の生コンを使用する場合）
・ ｺﾝｸﾘｰﾄ打設時に必要な供試体を採取し，強度，ｽﾗﾝﾌﾟ・空気量等が確認できる。
・ 施工条件及び気象条件に適した運搬時間，打設時の投入高さ，ﾊﾞｲﾌﾞﾚｰﾀｰによる締固，養生方法等，適切に行っている。（寒中及び暑中ｺﾝｸﾘｰﾄ等を含む）
・ コンクリート打設までのチェアー，タンバー等の保管管理が適正であることが確認できる。
・ コンクリート版の４隅，スリップバー，タンバー等の付近は，分離したコンクリートが集まらないようにしている。
・ コンクリート舗装の表面は粗面仕上げで，かつ平坦，緻密，堅硬な表面仕上げになっている。
・ コンクリート舗装の表面仕上げで縦方向に凹凸がない。
・ 目地の隣り合わせの舗装面に段差がない。</td></tr>
</table>

（検　査　職　員）

3．出来形及び出来ばえ　Ⅱ．品質　下水道管更生工事

【橋面舗装】

・橋面舗装では，舗装に先駆け行う防水工においてむらがなく，橋面の防水前，及び施工後の測定を行っている。
・水の浸入を防止する舗装端部の処理が適正に施工されている。
・防水シートは，橋面部を洗浄し，水分計等で床版が十分に乾燥したことを確認した後に付着を適切に行っている。
・舗装コアを採取しない場合は，別途適切な方法で密度管理を行っている。
・床版工のスペーサーは，本体コンクリートと同等の品質で，仕様書に定められた数以上の設置が確認できる。

※ ただし，ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が３項目以下の場合は…… c
※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は，評価対象項目だけで評価する。

$$評価値 = \frac{評価する項目}{評価対象項目} \times 100 = \frac{0}{0} \times 100 = \square \%$$

●判断基準（品質）

評価値＼ばらつき	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超え	
90%以上	a	a’	b	b
75%以上90%未満	a’	b	b’	b’
60%以上75%未満	b	b’	c	c
60%未満	b’	c	c	c

評　価

考査項目	工種	a	b	c	d
3．出来形及び出来ばえ　Ⅲ．出来ばえ	舗装工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

「評価対象項目」

・舗装の平坦性が良い。
・構造物の通りが良い。
・端部処理が良い。
・構造物へのすりつけ等が良い。
・雨水処理が良い。
・全体的な美観が良い。

確認項目の該当５項目以上　・ a
確認項目の該当４項目　…… b
確認項目の該当３項目　…… c
確認項目の該当２項目以下　・ d

評価する項目数	評　価

（検　査　職　員）

考 査 項 目	工　種	a	a’	b	b’	c	d	e
3.出来形及び出来ばえ Ⅱ.品質	法面工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと，評価値から判断する。〈判断基準参照〉 ｛関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験｝ ※ ばらつきの判断基準は別紙―４参照 ☆ 品質が，試験項目，試験基準及び規格値を満足する。 「評価対象項目」 【共通】 ・ 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 ・ 湧水，地表水の処理が適切で侵食，亀裂等がないことが確認できる。 ・ ラス張工は，地山に均等になじむように張られ，浮いているところないように施工されていることが確認できる。 ・ 法肩の地山への巻き込みが適正に施工されていることが確認できる。 ・ ネットの設置にあたり，法面への固定方法が適切であることが確認できる。 ・ 地山表面の不純物の除去が確実に実施されていることが確認できる。 【種子吹付工，客土吹付工，植生基材吹付工関係】 ・ 土壌試験を実施し，施工に反映していることが確認できる。 ・ ネット等の重ね幅が規定以上確保されていることが確認できる。 ・ 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 ・ 吹付け厚さによって必要な場合，２層以上の吹き付けは，層を分けて施工していることが確認できる。 ・ 跳ね返り材料が適切に処理されていることが確認できる。 ・ 種子の品質が適正なことが書類等で確認できる。 【コンクリート又はモルタル吹付工関係】 ・ 金網等の重ね幅が規定以上確保されていることが確認できる。 ・ 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 ・ 跳ね返り材料が適切に処理されている。 ・ 金網が仕様書の通りに施工され，仕上げ面から適正な間隔を保ち固定されていることが確認できる。 ・ 水抜きパイプが適切に配置されていることが確認できる。 【現場打ち法枠工関係】 ・ アンカーの施工長さが確認できる。 ・ 現場養生が適切に行われていることが確認できる。 ・ 枠内に空隙がないことが確認できる。 ・ 層間に剥離がないことが確認できる。 ・ 跳ね返り材料が適切に処理されていることが確認できる。 ・ アンカーが確実に固定されていることが確認できる。					・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば…ｄ	・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。 上記該当あれば…ｅ

（検　査　職　員）

3.出来形及び出来ばえ　法面工事　下水道管更生工事

Ⅱ. 品質

【アンカー工】

- ボルトの締付確認が実施され，適切に管理されていることが確認できる。
- ボルトの締め付け機，測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。
- アンカー施工までの定着具，テンドン等の保管管理が適正であることが確認できる。
- アンカー等の組み立て，加工が適正で損傷，汚れがないことが確認できる。
- グラウト注入のセメントミルクの品質，強度および充填確認が資料等により確認できる。
- 削孔の位置，削孔長，方向について確認できる記録が管理されていることが確認できる。
- 削孔内の洗浄が適切に施工され，スライムの除去が資料等で確認できる。
- 設計アンカーの耐力確保のためにジャッキの試験成績表に基づき，定着荷重の資料が整備されている。
- 材料・製品の品質・規格等がミルシート等により確認できる。

●判断基準（品質）

評価値＼ばらつき	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超え	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

※ ただし，ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が３項目以下の場合は…… c
※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は，評価対象項目だけで評価する。

$$評価値 = \frac{評価する項目}{評価対象項目} \times 100 = \frac{0}{0} \times 100 = \square \%$$

評　価

考査項目	工種	a	b	c	d
3.出来形及び出来ばえ	法面工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

Ⅲ. 出来ばえ

「評価対象項目」

- 構造物の通りが良い。
- 植生，吹付け等の状況が均一である。
- 端部処理が良い。
- 全体的な美観が良い。
- アンカーの方向が良い。
- アンカーとプレートに隙間がない。
- 施工管理記録から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。

確認項目の該当６項目以上　・ a
確認項目の該当５項目　……· b
確認項目の該当４項目　……· c
確認項目の該当３項目以下　・ d

評価する項目数	評　価

別紙－３ ⑩ １

（検　査　職　員）

考査項目	工種	a	a’	b	b’	c	d	e
Ⅱ．品質 ３．出来形及び出来ばえ	基礎工	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと，評価値から判断する。〈判断基準参照〉 ｛関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験｝ ※ ばらつきの判断基準は別紙―４参照 ☆ 品質が，試験項目，試験基準及び規格値を満足する。 「評価対象項目」 【共通】 ・ 水平度，安全度，鉛直度等が確認できる。 ・ 掘削深度，排出土砂，孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度，比重が適切に管理されている。 ・ ケーシングをはじめ，加工組立した鉄筋等について細心の注意で施工されている。 ・ 裏込材注入の圧力等が施工記録により確認できる。 ・ 測定機器のキャリブレーションを実施している。 【深礎工】 ・ ライナープレート等の組立にあたって，偏心と歪みが少なくなるよう配慮されている。 ・ 孔底が設計図書に示す支持地盤に達したことを，掘削深度，掘削土砂，地質柱状図等などにより確認されている。 【既成杭関係（コンクリート・鋼管・鋼管井筒等）】 ・ 杭に損傷及び補修痕がない。 ・ 杭の打止め管理方法が整備され，支持強度等に係る記録が確認できる。 ・ 溶接の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。 ・ 打ち込み機械が堅固な足場に固定され，施工されていることが確認できる。 ・ 鉄筋圧接作業は有資格者が行っている。 ・ 杭頭処理にあたり，設計図書に基づき適切な処理が実施されている。 ・ 杭先端の根固め工法において品質が確保されたセメントミルクにより施工され，打設量が確認できる。 【場所打ち杭関係】 ・ 杭の施工管理方法が整備され，かつ記録が確認できる。 ・ トレミー管を，コンクリート内に仕様書に定められた長さ以上入れて施工していることが確認できる。 ・ 鉄筋の加工組立，及び設置が適正に行われている。 ・ スライム処理が適正に行われていることが確認できる。					・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば… d	・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。 上記該当あれば… e

（検 査 職 員）

3．出来形及び出来ばえ　下水道管更生工事

Ⅱ．品質

【コンクリート工（場所打ち杭の中詰め用等）】

- 設計図書に基づくコンクリートの配合試験または試験練りが行われており，適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。（JISA-5308以外の生コンを使用する場合）
- コンクリート打設時の必要な供試体を採取し，強度，スランプ・空気量等が確認できる。
- 施工条件及び気象条件に適した運搬時間，打設時の投入高さ等，適切に行われている。
- コンクリートの現場養生用の供試体が当該現場のものであることが確認できる。
- 機器及び部品等で性能検査をするものは，製造者又は公的機関の証明書が整備されている。
- コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。
- 鉄筋の組立・加工が適切であることが確認できる。
- スペーサーを適切に配置し，鉄筋のかぶりを確保している。
- 鉄筋圧接作業は有資格者が行っている。
- 鉄筋の規格・引張強度・曲げ強度の試験値をミルシート等で確認できる。

※ ただし，ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が３項目以下の場合は…… c
※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は，評価対象項目だけで評価する。

評価値 ＝ 評価する項目／評価対象項目 ×１００ ＝ 0／0 ×１００ ＝ ［　］ %

●判断基準（品質）

評価値＼ばらつき	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超え	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

評　価

考査項目	工種	a	b	c	d
3．出来形及び出来ばえ	基礎工	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

Ⅲ．出来ばえ

「評価対象項目」
- 土工関係の仕上げが良い。
- 通りが良い。
- 天端仕上げ，端部仕上げが良い。
- 施工管理記録から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。

確認項目の該当３項目以上　a
確認項目の該当２項目　……　b
確認項目の該当１項目　……　c
該当項目なし　………………　d

評価する項目数	評　価

（検　査　職　員）

考査項目	工　種	a	a’	b	b’	c	d	e
３.出来形及び出来ばえ Ⅱ.品質	地盤改良工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと，評価値から判断する。〈判断基準参照〉 ｛関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験｝ ※ ばらつきの判断基準は別紙―４参照 ☆ 品質が，試験項目，試験基準及び規格値を満足する。					・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば…ｄ	・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。 上記該当あれば…ｅ

「評価対象項目」

【共通】

- 使用材料は，数量をはじめ，安全性が確認できる品質証明書が整理されている。
- 施工ポイントにロッドのセンターが合っているか，ロッドの寸法，及び残尺をもって確認できる。
- 機械の安定を確保し，垂直精度を確認し，孔曲がりの防止につとめ，水平度，鉛直度が確保されている。
- 注入量は，流量計を使用し，規定分の注入材を注入したことが確認できる。
- 工事着手前に配合試験，一軸圧縮試験等を実施し，それに基づいた施工が実施されている。

【薬液注入工】

- 薬液の配合は，常に設定されたゲルタイムになるように日々管理がなされている。
- 注入順序はステップアップ方式とし正規の間隔で引き上げ管理していることが確認できる。
- 注入は，突出量を一定に保つように圧力管理が実施されている。
- 注入状況を証明する記録用紙には，監督員の検印されたもので整理されている。
- 注入完了後は，設計を満足する結果かどうかを透水試験等により確認されている。
- 薬液注入箇所周辺の地下水及び公共用水域等の水質汚濁の状況を監視し，測定結果が水質基準に適合している。

【高圧噴射攪拌工】

- 噴射テストにより施工仕様の確認を実施している。
- 造成の際には，圧力，回転数などの施工仕様に基づき管理されていることが確認できる。
- 注入材の管理は，常に練り上がった注入材の比重をマッドバランスで管理し，日々測定の比重管理が実施されている。
- 規定の有効径が確保され，一軸圧縮強度試験により強度管理されている。
- 六価クロム溶脱に対する確認が実施され，本工事が実施されている。

※ ただし，ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が３項目以下の場合は……　ｃ
※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は，評価対象項目だけで評価する。

$$評価値 = \frac{評価する項目}{評価対象項目} \times １００ = \frac{0}{0} \times １００ = \square \ \%$$

●判断基準（品質）

評価値＼ばらつき	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超え	
90%以上	a	a’	b	b
75%以上90%未満	a’	b	b’	b’
60%以上75%未満	b	b’	c	c
60%未満	b’	c	c	c

評　価

別紙－３ ⑪ ２

（検　査　職　員）

考 査 項 目	工　種	a	b	c	d	
３. 出来形及び出来ばえ	下水道管更生工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
Ⅲ. 出来ばえ		「評価対象項目」 ・ 土工関係の仕上げが良い。 ・ 通りが良い。 ・ 天端仕上げ，端部仕上げが良い。 ・ 施工管理記録から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。				確認項目の該当３項目以上　a 確認項目の該当２項目　……　b 確認項目の該当１項目　……　c 該当項目なし　………………　d

評価する項目数	評　価

（検　査　職　員）

<table>
<tr><th>考 査 項 目</th><th>工　種</th><th>a</th><th>a’</th><th>b</th><th>b’</th><th>c</th><th>d</th><th>e</th></tr>
<tr><td rowspan="2">３. 出来形
及び
出来ばえ

Ⅱ.

品

質</td><td rowspan="2">コンクリート橋工事（PC桁及びRC桁を対象）</td><td colspan="5">☆ 品質関係の試験結果のばらつきと，評価値から判断する。〈判断基準参照〉
｛関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験｝
※ ばらつきの判断基準は別紙―４参照
☆ 品質が，試験項目，試験基準及び規格値を満足する。</td><td rowspan="2">・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。

上記該当あれば…ｄ</td><td rowspan="2">・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。

上記該当あれば…ｅ</td></tr>
<tr><td colspan="5">「評価対象項目」
【共通】
・ 設計図書に基づくコンクリートの配合試験または試験練りが行われており，適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。（JISA-5308以外の生コンを使用する場合）
・ コンクリート打設時の必要な供試体を採取し，強度，スランプ・空気量等が確認できる。
・ 施工条件及び気象条件に適した運搬時間，打設時の投入高さ，バイブレーターによる締固，養生方法等を適切に行っている。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）
・ 型枠，支保工の組立が適正で，コンクリート打設後，取り外し時期がコンクリート強度等で適正に管理されている。
・ 鉄筋等の規格・引張強度・曲げ強度の試験値をミルシート等で確認できる。
・ コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。
・ スペーサーを適切に配置し，鉄筋のかぶりを確保している。
・ 鉄筋圧接作業は有資格者が行っている。
・ 鉄筋等の組立・加工が適切であることが確認できる。
・ コンクリート打設時に雨水等の対策が適切に行われている。
・ コンクリートの現場養生用の供試体が当該現場のものであることが確認できる。
・ コンクリートの打ち直しや補修の痕跡がない。

【製作関係】
・ 製品の規格・数量がミルシート等（現場照合を含む）で確認できる。
・ 作業実施前に装置（機器）のキャリブレーションが実施されている。
・ スペーサーの材料が適正で，品質が確認できる。
・ プレビーム桁のプレフレクションが適正に実施されている。
・ 緊張及びグラウト管理が適切に管理されている。
・ プレストレッシング時のコンクリート強度が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

【架設関係】
・ 支承の据付で，コンクリート面のチッピング及びモルタルでの付着が確認でき，仕上げ面に水切り勾配がついている。</td></tr>
</table>

（検　査　職　員）

考査項目	工種	内容
3.出来形及び出来ばえ Ⅱ.品質	コンクリート橋工事（PC桁及びRC桁を対象）	※ ただし，ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が３項目以下の場合は…… c ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は，評価対象項目だけで評価する。 評価値 ＝評価する項目／評価対象項目×１００ ＝0／0×１００ ＝［　］% ・ クラックがある場合，別紙－４の２項を参照し，ｃ，ｄまたはｅ評価する。

●判断基準（品質）

ばらつき／評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超え	
90%以上	a	a’	b	b
75%以上90%未満	a’	b	b’	b’
60%以上75%未満	b	b’	c	c
60%未満	b’	c	c	c

評　価

考査項目	工種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

3.出来形及び出来ばえ　Ⅲ.出来ばえ　コンクリート橋工事（PC桁及びRC桁を対象）

「評価対象項目」
- コンクリート構造物の肌が良い。
- コンクリート構造物の通りが良い。
- 天端仕上げ､端部仕上げ等が良い。
- 支承部の仕上げが良い。
- クラックがない。
- 全体的な美観が良い。

確認項目の該当５項目以上　　a
確認項目の該当４項目　……　b
確認項目の該当３項目　……　c
確認項目の該当２項目以下　　d

評価する項目数	評　価

（検　査　職　員）

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3．出来形及び出来ばえ Ⅱ．品質	塗装工事（工場塗装を除く）	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと，評価値から判断する。〈判断基準参照〉 ｛関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験｝ ※ ばらつきの判断基準は別紙―４参照 ☆ 品質が，試験項目，試験基準及び規格値を満足する。					・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば…ｄ	・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。 上記該当あれば…ｅ

「評価対象項目」

- 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。（重ね塗りの場合も含む）
- ケレンが入念に実施されていることが確認できる。
- 施工時の天候，気温及び湿度等の条件が整理・記録されており，適正な気象条件下で塗装をしている。
- 塗料を使用前に攪拌し，容器底部に顔料が沈殿していないことが確認できる。
- 塗料に有害な付着物がない.
- 塗料の空缶管理が，写真等で確実に空であることが確認できる。
- 塗料の品質が出荷証明書，塗料証明書で確認できる。
- 上向きなど塗装しにくいところが入念に施工されている。
- 締め付けボルト，橋台と桁の間，及び隅の所で塗り残しがない。
- 仮設足場の跡などの塗り残し，色違いの塗装のないことが確認できる。
- 塗膜の表面に気泡，凹凸がないことが確認できる。
- 設計図書に示された数量が，使用前後で資料により確認できる。

※ ただし，ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が３項目以下の場合は……　ｃ
※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は，評価対象項目だけで評価する。

評価値 $=\dfrac{評価する項目}{評価対象項目}\times 100 = \dfrac{0}{0}\times 100 =$ ［　］ %

●判断基準（品質）

評価値＼ばらつき	ばらつきで判断可能 50%以下	80%以下	80%を超え	ばらつきで判断不可能
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

評　価

別紙－３ ⑬ ２

（検　査　職　員）

考 査 項 目	工　種	a	b	c	d	
３．出来形 及び 出来ばえ Ⅲ． 出 来 ば え	下水道管更生工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
		「評価対象項目」 ・ 塗装の均一性が良い。 ・ 細部まできめ細かな施工がされている。 ・ 補修箇所がない。 ・ 全体的な美観が良い。 確認項目の該当３項目以上　a 確認項目の該当２項目　……　b 確認項目の該当１項目　……　c 該当項目なし　………………　d				

評価する項目数	評　　価

別紙－３ ⑭ １

（検 査 職 員）

考査項目	工 種	a	a’	b	b’	c	d	e
３.出来形及び出来ばえ Ⅱ.品質	植栽工事（公園・街路）	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと，評価値から判断する。〈判断基準参照〉 ｛関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験｝ ※ ばらつきの判断基準は別紙―４参照 ☆ 品質が，試験項目，試験基準及び規格値を満足する。					・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば…ｄ	・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。 上記該当あれば…ｅ

「評価対象項目」

- 設計図書に基づく各種材料の品質証明が整備されている。
- 土壌硬度試験及び土壌試験（ｐＨ）を実施し施工に反映している。
- 活着管理が適正に行われている。
- 樹木等に損傷，はちくずれ等がなく保護養生が適切になされている。
- 樹木等の生育に害のあるものは除去されている。
- 余剰枝の剪定，整形その他必要な手入れが行われている。
- 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥されている。
- 土壌改良においては，設計に基づく改良深さ，改良材の添加量が確保され，均一に混合されている。
- 樹木保護のため，根捲き・幹捲きなどが適切に行われている。
- 支柱は，全体的な美観を考慮して，バランスよく，高さ，方向など統一されて施工されている。
- 樹木・地被類，つる性植物等には樹幹のわれ，病虫害などないことが確認できる。
- 現場に搬入された樹木類は，速やかに植え付けられ枯死しないように養生されている。

※ ただし，ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が３項目以下の場合は…… ｃ
※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は，評価対象項目だけで評価する。

評価値 ＝ 評価する項目 / 評価対象項目 ×１００ ＝ ０ / ０ ×１００ ＝ ［　　］ ％

●判断基準（品質）

評価値＼ばらつき	ばらつきで判断可能 50%以下	80%以下	80%を超え	ばらつきで判断不可能
90%以上	a	a’	b	b
75%以上90%未満	a’	b	b’	b’
60%以上75%未満	b	b’	c	c
60%未満	b’	c	c	c

評　価

別紙－３ ⑭ ２

（検　査　職　員）

考 査 項 目	工　種	a	b	c	d	
３．出来形 及び 出来ばえ Ⅲ． 出 来 ば え	公園・植栽工事 下水道管更	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
		「評価対象項目」 ・ 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 ・ 支柱の取り付けが堅固である。 ・ 通りが良い。 ・ きめ細かな施工がなされている。 ・ 全体的な美観が良い。 確認項目の該当４項目以上　a 確認項目の該当３項目　……　b 確認項目の該当２項目　……　c 確認項目の該当１項目以下　d				

評価する項目数	評　　価

別紙－３ ⑮ １

（検 査 職 員）

考査項目	工種	a	a’	b	b’	c	d	e
３．出来形及び出来ばえ Ⅱ．品質	防護柵等設置工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと，評価値から判断する。〈判断基準参照〉 ｛関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験｝ ※ ばらつきの判断基準は別紙―４参照 ☆ 品質が，試験項目，試験基準及び規格値を満足する。					・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば…ｄ	・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。 上記該当あれば…ｅ

「評価対象項目」

- ボルトは資材に対し直角に通り，緩みなく締め付けが十分であることが確認できる。
- シールは位置，高さなどの点で適正に貼られ，しわが寄っていない。
- 製品の損傷，キズ，へこみなどがないことが確認できる。
- 防護柵は，垂直に立ち，規格通りの高さに設置され，道路の路側構造物との位置関係が図られている。
- 連結するボルト等にゆるみがない。
- 支柱とレール，及びロープにゆがみがない。
- ガードケーブルを支柱に取付ける場合，設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。
- ケーブル型防護柵の曲線部では，支柱がケーブル張力によって傾かないように施工されている。
- 支柱を打ち込む場合は，地盤をゆるめないように注意して施工され，また穴を掘って立て込む場合は，十分に突き固めて埋め戻しされている。
- 支柱を支える基礎は，規格通りにできあがり，高さ，位置は設計図書に適合することが確認できる。

※ ただし，ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が３項目以下の場合は…… ｃ
※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は，評価対象項目だけで評価する。

評価値 ＝ $\frac{評価する項目}{評価対象項目}$ ×１００ ＝ $\frac{0}{0}$ ×１００ ＝ ［　　］％

●判断基準（品質）

ばらつき／評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超え	
90%以上	a	a’	b	b
75%以上90%未満	a’	b	b’	b’
60%以上75%未満	b	b’	c	c
60%未満	b’	c	c	c

評　価

別紙－３ ⑮ ２

（検　査　職　員）

考 査 項 目	工　種	a	b	c	d	
３.出来形及び出来ばえ	下水道管更生工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
Ⅲ.出来ばえ		「評価対象項目」 ・ 通りが良い。 ・ 端部処理が良い。 ・ 部材表面に傷，錆がない。 ・ 既設構造物とのすりつけが良い。 ・ きめ細かな施工がなされている。 ・ 全体的な美観が良い。				確認項目の該当５項目以上　a 確認項目の該当４項目　……　b 確認項目の該当３項目　……　c 確認項目の該当２項目　……　d

評価する項目数	評　　価

（検　査　職　員）

考 査 項 目	工　種	a	a’	b	b’	c	d	e
3．出来形及び出来ばえ Ⅱ．品質	標識等設置工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと，評価値から判断する。〈判断基準参照〉 ｛関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験｝ ※ ばらつきの判断基準は別紙―４参照 ☆ 品質が，試験項目，試験基準及び規格値を満足する。					・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば…ｄ	・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。 上記該当あれば…ｅ

「評価対象項目」

【共通】
- ボルトは資材に対し直角に通り，緩みなく締め付けが十分であることが確認できる。
- シールは位置，高さなどの点で適正に貼られ，しわが寄っていない。

【視線誘導標・道路標識】
- 製品の損傷，キズ，へこみなどがないことが確認できる。
- 視線誘導標，道路標識は，垂直に立ち，規格通りの高さに設置され，道路の路側構造物との位置関係が図られている。
- 色彩・反射性能を試験結果報告書などで確認できる。
- 構造物強度・地耐力の確認が出来る。
- 視線誘導標の反射器の設置が適切である。
- 視線誘導標の支柱が沈下するおそれがないよう十分突き固められている。
- コンクリート基礎の施工では，周囲の締固めが十分に行われている。
- 支柱を支える基礎は，規格通りにできあがり，高さ，位置が設計図書に適合することが確認できる。

【照明灯】
- 製品に損傷，キズ，へこみなどかないことが確認できる。
- 照明灯は，垂直に立ち，規格通りの高さに設置され，道路の路側構造物との位置関係が適正である。
- 設計図書に明示以外は，照明灯の方向は，道路法線に直角に対称形になっている。
- 構造物強度・地耐力の確認ができる。
- 基礎の周囲の締め固めが十分に行われていることが確認できる。
- 支柱を支える基礎は，規格通りにできあがり，高さ，位置が設計図書に適合することが確認できる。

※ ただし，ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が３項目以下の場合は…… ｃ
※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は，評価対象項目だけで評価する。

評価値 $= \dfrac{評価する項目}{評価対象項目} \times １００ = \dfrac{0}{0} \times １００ =$ ［　　］ %

●判断基準（品質）

ばらつき ＼ 評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超え	
90%以上	a	a’	b	b
75%以上90%未満	a’	b	b’	b’
60%以上75%未満	b	b’	c	c
60%未満	b’	c	c	c

評　価

別紙－３ ⑯ ２

（検　査　職　員）

考 査 項 目	工　種	a	b	c	d	
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
3．出来形 及び 出来ばえ Ⅲ． 出 来 ば え	下水道管 更生工事	「評価対象項目」 ・ 設置位置に配慮がある。 ・ 標識の向き，角度，支柱の通りが良い。 ・ 標識板，支柱に変色がない。 ・ 支柱基礎の埋め戻し等が入念に施工されている。 ・ 全体的な美観が良い。				確認項目の該当４項目以上　a 確認項目の該当３項目　……　b 確認項目の該当２項目　……　c 確認項目の該当１項目　……　d

評価する項目数	評　　価

別紙－３ ⑰ １

（検　査　職　員）

考査項目	工　種	a	a’	b	b’	c	d	e
３.出来形及び出来ばえ Ⅱ．品質	区画線工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと，評価値から判断する。〈判断基準参照〉 ｛関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験｝ ※ ばらつきの判断基準は別紙―４参照 ☆ 品質が，試験項目，試験基準及び規格値を満足する。 「評価対象項目」 ・ ペイント式（常温式）区画線に使用するシンナーの使用量が，仕様書に定められた数値以下であることが確認できる。 ・ 塗料の空き缶管理が，写真等で確実に空であることが確認できる。 ・ 施工時の気象条件を考慮し，施工がなされていることが確認できる。 ・ 施工前に路面を清掃した上で，乾燥後に施工されている。 ・ 溶融式区画線の施工では溶融漕を適温に管理している。 ※ ただし，ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が２項目以下の場合は…… c ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は，評価対象項目だけで評価する。 評価値 ＝ 評価する項目 / 評価対象項目 ×１００ ＝ 0 / 0 ×１００ ＝ ［　］ ％					・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば… d	・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。 上記該当あれば… e

●判断基準（品質）

評価値＼ばらつき	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超え	
90%以上	a	a’	b	b
75%以上90%未満	a’	b	b’	b’
60%以上75%未満	b	b’	c	c
60%未満	b’	c	c	c

評　価

別紙－３ ⑰ ２

（検　査　職　員）

考 査 項 目	工　種	a	b	c	d	
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
3.出来形及び出来ばえ Ⅲ.出来ばえ	下水道管更生工事	「評価対象項目」 ・ 塗料の幅と厚さが均一である。 ・ 視認性が良い。 ・ 接着状態が良い。 ・ 施工前の清掃が入念に実施されている。 ・ 全体的な美観が良い。 確認項目の該当４項目以上　a 確認項目の該当３項目　……　b 確認項目の該当２項目　……　c 確認項目の該当１項目　……　d				

評価する項目数	評　　価

（検　査　職　員）

考査項目	工　種	a	a’	b	b’	c	d	e
3.出来形及び出来ばえ Ⅱ.品質	維持修繕工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと，評価値から判断する。〈判断基準参照〉 {関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験} ※ ばらつきの判断基準は別紙―４参照 ☆ 品質が，試験項目，試験基準及び規格値を満足する。 「評価対象項目」 【舗装道維持修繕工事】 ・設計図書に基づく混合物の配合報告書により適切な混合物の規格が確認できる。 ・混合物の温度管理が，プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。 ・気象条件に適した混合物の運搬方法，舗設作業（締め固め等）の配慮が行われている。 ・舗装が入念に実施されており，周縁部との段差，隙間などなく，確実な密着が確認できる。 ・施工面の水，ゴミ等の有害物を除去後に舗設したことが確認できる。 ・乳剤が均一に散布され，第三者への飛散防止対策，及び構造物への付着などに細心の注意が払われている。 ・舗設後，直ちに供用する必要のある現場で，交通解放時の温度管理を適切に行っている。 ・目地の処理が仕様書に定められたとおりであることが確認できる。 ・切削工では切削面が平坦に施工されていることが確認できる。 【道路維持修繕工事】 ・材料（二次製品）の規格，品質が適正であり，証明書等が整備されている。 ・基礎，支柱が沈下しないよう，設置孔の基礎部が十分締め固められ，堅固に立て込まれている。 ・取り替え前に，既存部材の形状等がきめ細かに調整され，支障なく本来の機能が確保されている。 ・蓋のガタツキがないことが確認されている。 ・設計図書に基づいた構造物，道路付属物周辺の除草，伐採が実施されている。					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば…d	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。 上記該当あれば…e

※ ただし，ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が２項目以下の場合は…… c

※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は，評価対象項目だけで評価する。

評価値 ＝ 評価する項目 / 評価対象項目 ×１００ ＝ 0 / 0 ×１００ ＝ 　　％

●判断基準（品質）

評価値＼ばらつき	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超え	
90%以上	a	a’	b	b
75%以上90%未満	a’	b	b’	b’
60%以上75%未満	b	b’	c	c
60%未満	b’	c	c	c

評　価

別紙－３ ⑱ ２

（検　査　職　員）

考 査 項 目	工　種	a	b	c	d	
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
3．出来形 及び 出来ばえ Ⅲ． 出 来 ば え	下水道管更生工事	「評価対象項目」 ・ 小構造物にも細心の注意が払われている。 ・ きめ細かな施工がなされている。 ・ 既設構造物とのすりつけが良い。 ・ 全体的な美観が良い。 ・ 水溜りが生じていない。				確認項目の該当４項目以上　a 確認項目の該当３項目　……　b 確認項目の該当２項目　……　c 確認項目の該当１項目　……　d

評価する項目数	評　　価

（検　査　職　員）

考 査 項 目	工　種	a	a’	b	b’	c	d	e
３.出来形 及び 出来ばえ Ⅱ. 品 質	解体工事	「評価対象項目」 ・ 振動・騒音・粉塵・汚濁水等により，第三者に被害をおよぼさないよう施工していることが確認できる。 ・ 供用中の道路・住宅等に影響をおよぼさないよう施工していることが確認できる。 ・ 本体構造物の一部を撤去する場合には，本体構造物に損傷を与えないよう施工していることが確認できる。 ・ 取り壊し殻を分離し，それぞれ収集運搬，処理が適正に行われていることが，産業廃棄物管理票（マニフェスト）で確認できる。 ・ 不可視部分となる品質が，工事写真・施工記録により確認できる。 ・ その他の事項について設計図書に基づいて施工されている。 ・ その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）					・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば…ｄ	・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。 上記該当あれば…ｅ

確認項目の該当５項目以上　‥‥‥　a
確認項目の該当４項目　‥‥‥‥‥‥　a’
確認項目の該当３項目　‥‥‥‥‥‥　b
確認項目の該当２項目　‥‥‥‥‥‥　b’
確認項目の該当１項目以下　‥‥‥　c

評価する項目数	評　　価

別紙－３ ⑲ ２

（検　査　職　員）

考 査 項 目	工　種	a	b	c	d	
３.出来形及び出来ばえ	下水道管更生工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
Ⅲ.出来ばえ		「評価対象項目」 ・ 既存部分や関連設備との調整がなされている。 ・ 安全及び環境に対する配慮が適切である。 ・ 整地状況が良い。 ・ 解体撤去後の全体的な美観が良い。 ・ その他（　　　　　　　　　　　　）				確認項目の該当３項目以上　a 確認項目の該当２項目　……　b 確認項目の該当１項目　……　c 該当項目なし　………………　d

評価する項目数	評　　価

（検 査 職 員）

考 査 項 目	工 種	a	a’	b	b’	c	d	e
３．出来形及び出来ばえ Ⅱ．品質	港湾築造工事（浚渫，海岸築造工事を含む）	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと，評価値から判断する。〈判断基準参照〉 ｛関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験｝ ※ ばらつきの判断基準は別紙―４参照 ☆ 品質が，試験項目，試験基準及び規格値を満足する。					・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば…ｄ	・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。 上記該当あれば…ｅ
		「評価対象項目」 【共通】 ・ 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 ・ 鋼材の規格・数量がミルシート等（現物照合を含む）で確認できる。 ・ 溶接及び切断の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。 ・ 設計図書に基づくコンクリートの配合試験または試験練りが行われており，適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。（JISA-5308以外の生コンを使用する場合） ・ コンクリート打設時の必要な供試体を採取し，強度・スランプ・空気量等が確認できる。 ・ 施工条件及び気象条件に適した運搬時間，打設時の投入高さ，バイブレーターによる締固，養生方法等，適切に行っている。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） ・ 型枠，支保工の組立が適正で，コンクリート打設後，取り外し時期がコンクリート強度等で適正に管理されている。 ・ コンクリートの打ち直しや補修の痕跡がない。 ・ コンクリート打設時に雨水やわき水が適切に処理されている。 ・ コンクリートの現場養生の供試体が当該現場のものであることが確認できる。 ・ 施工基面が平坦に仕上げられている。 ・ 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されている。 ・ 捨石，被覆石などの材料の規格・品質・軽量が試験成績表等（現物照合を含む）で確認できる。 ・ コンクリート打設までの鉄筋や型枠セパレートの保管管理が適正であることが確認できる。 ・ 鉄筋の加工・組立が適切であることが確認できる。 ・ スペーサーを適切に配置し，鉄筋のかぶりを確保している。 ・ 鉄筋の規格・引張強度・曲げ強度の試験値をミルシート等で確認できる。 ・ 工事期間中， １日１回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。 ・ 台風などの異常気象に備えて施工前に避難場所の確保及び退避設備の対策を講じていることが確認できる。 【浚渫・床掘関係】 ・ 浚渫に関する仕様書で定められている品質管理が実施されている。 ・ 浚渫工又は床掘工についてムラなく設計図書どおりに施工されていることが記録により確認できる。 ・ 測深資料から施工の適正さが確認できる。 【マット，帆布，捨石及び均し関係】 ・ マット又は帆布が破損なく所定の幅で積み重ね合わせられていることが写真記録等により確認できる。 ・ 捨石基礎は，大小の石でかみ合わせが良く均し面にゆるみがないよう施工され，平坦に仕上られていることが確認できる。 ・ 被覆及び根固め石がゆるみのないように堅個に施工され，記録により確認できる。 ・ 裏込めが既設構造物及び砂防目地版の破損に注意して施工され，記録により確認できる。						

（検　査　職　員）

3.出来形及び出来ばえ　Ⅱ．品質　港湾築造工事（浚渫，海岸築造工事を含む）

【ブロック関係】
・ 異形ブロック等を現場で製作のものは，型枠搬入時に仮組等を実施し，寸法・歪み・傷等をチェックしている。
・ 異形ブロックの製作で豆板，かけ，型枠の目違いが規定の範囲であることが確認できる。
・ コンクリートブロックの転地及び仮置きにあたって，強度確認を行っている。
・ 転倒や崩壊等が無いようコンクリートブロックの仮置きを行っていることが確認できる。
・ コンクリートブロック据付に先立ち，気象・海象等を十分調査し，据付作業が所定の精度で行われている。
・ ブロック据付等についてブロック及び既設構造物等の破損がなく施工されている。
・ 方塊ブロックが垂直に据えられていることが確認できる。
・ 乱積でコンクリートブロック相互のかみ合わせがよく，孤立したブロックがないことが確認できる。

【堤体・上部工関係】
・ 施工の打ち継ぎ目では，位置が適正で，コンクリート打設前の清掃等が適切に行われている。

【杭及び矢板，控工関係】
・ 杭及び矢板に損傷及び補修痕がなく施工されている。
・ 杭及び矢板の打止め施工管理方法等が整備され，かつ記録が確認できる。
・ 溶接及び切断の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。
・ 腹起こし材を全延長にわたり規定の水平高さに取り付け，ボルトで十分締め付け矢板壁に密着させている。
・ 鋼材の保管にあたり，変形及び塗覆装面に損傷を与えないよう，適切に処理されている。
・ 控索材は隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されている。

※ ただし，ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が３項目以下の場合は…… c
※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は，評価対象項目だけで評価する。

評価値 ＝ 評価する項目 / 評価対象項目 ×１００ ＝ 0 / 0 ×１００ ＝ ［　　］％

●判断基準（品質）

評価値＼ばらつき	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超え	
90%以上	a	a’	b	b
75%以上90%未満	a’	b	b’	b’
60%以上75%未満	b	b’	c	c
60%未満	b’	c	c	c

評　価

考査項目	工　種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

3.出来形及び出来ばえ　Ⅲ．出来ばえ　港湾築造工事（浚渫，海岸築造工事を含む）

「評価対象項目」
・ 通りが良い。
・ 施工管理記録などから，不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。
・ 構造物の表面及び端部の仕上げが良い。
・ きめ細かな施工がなされている。
・ 全体的な美観が良い。

確認項目の該当４項目以上　a
確認項目の該当３項目　…… b
確認項目の該当２項目　…… c
確認項目の該当１項目以下　d

評価する項目数	評　価

（検　査　職　員）

考査項目	工　種	a	a’	b	b’	c	d	e
３.出来形及び出来ばえ Ⅱ. 品 質	電線共同溝工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと，評価値から判断する。〈判断基準参照〉 ｛関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験｝ ※ ばらつきの判断基準は別紙―４参照 ☆ 品質が，試験項目，試験基準及び規格値を満足する。 「評価対象項目」 ・ 指定材料の規格が，品質を証明する書類で確認できる。 ・ 管路の通過試験を行っており，試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 ・ 混合物の温度管理が，プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。 ・ 特殊部の施工基面の支持力が，均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。 ・ 特殊部等の施工において，隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 ・ 埋戻しにおいて，設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ・ 舗装の復旧等が適時行われ，路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 ・ 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが，設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ・ 管設置において，それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。					・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば…ｄ	・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。 上記該当あれば…ｅ

※ ただし，ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が３項目以下の場合は…… ｃ

※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は，評価対象項目だけで評価する。

評価値 ＝$\frac{評価する項目}{評価対象項目}$×１００ ＝$\frac{0}{0}$×１００ ＝　　　％

●判断基準（品質）

ばらつき／評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超え	
90%以上	a	a’	b	b
75%以上90%未満	a’	b	b’	b’
60%以上75%未満	b	b’	c	c
60%未満	b’	c	c	c

評　　価

（検　査　職　員）

考 査 項 目	工　種	a	b	c	d	
３．出来形及び出来ばえ	下水道管更生工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
Ⅲ．出来ばえ		「評価対象項目」 ・ 歩道及び車道の舗装（仮復旧舗装を含む）の勾配が適切で，有害な段差がなく，平坦性が確保されている。 ・ プレキャストコンクリートブロックの蓋に，がたつきや不要な隙間が生じていない。 ・ 施工管理記録などから，不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 ・ 全体的な美観が良い。				確認項目の該当３項目以上　a 確認項目の該当２項目　……　b 確認項目の該当１項目　……　c 該当項目なし　………………　d

評価する項目数	評　　価

（検　査　職　員）

考 査 項 目	工　種	a	a’	b	b’	c	d	e
3．出来形及び出来ばえ Ⅱ．品質	機械設備工事	「評価対象項目」 ・材料，部品の品質照合の書類（現物照合）を整理し，品質の確認ができる。 ・設備の機能及び性能が，承認図書のとおり確保され，品質の確認ができる。 ・設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い，承認図書として提出していることが確認できる。 ・機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され，品質の確認ができる。 ・溶接管理基準の品質管理項目について，品質管理書類を整理し，品質の確認ができる。 ・塗装管理基準の品質管理項目について，品質管理書類を整理し，品質の確認ができる。 ・操作制御設備について，操作スイッチや表示灯が承認図書のとおり配置され，操作性にすぐれていることが確認できる。 ・操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について，試験書類を整理し，品質の確認ができる。 ・小配管，電気配線，配管が承認図書のとおり敷設していることが確認できる。 ・設備の取扱説明書を工夫していることが確認できる。 ・完成図書（取扱説明書）に部品等の点検及び交換方法について，まとめていることが確認できる。 ・機器の配置が点検しやすいように工夫していることが確認できる。 ・設備の構造や機器の配置が，交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。 ・構造物の劣化状況をよく把握して，適切な対策を施していることが確認できる。 ・現地状況を勘案し，施工方法等についての提案を行うなど，積極的に取り組んでいることが確認できる。 ・その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） ※ ただし，該当項目が３項目以下の場合は…… c					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば… d	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。 上記該当あれば… e

評価値 $= \frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} \times １００ = \frac{0}{0} \times １００ =$ 　　%

評価値が90%以上……………… a
評価値が80%以上90%未満…… a’
評価値が70%以上80%未満…… b
評価値が60%以上70%未満…… b’
評価値が60%未満……………… c

評　価

別紙－３ ㉒ ２

（検　査　職　員）

考査項目	工種	a	b	c	d	
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
３．出来形及び出来ばえ Ⅲ．出来ばえ	下水道管更生工事	「評価対象項目」 ・主設備，関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており，運転操作性が良い。 ・きめ細かな施工がなされている。 ・土木構造物，既設設備等とのすりつけが良い。 ・溶接，塗装，組立等において，細部にわたる配慮がなされている。 ・全体的な美観が良い。				確認項目の該当４項目以上　a 確認項目の該当３項目　……　b 確認項目の該当２項目　……　c 確認項目の該当１項目　……　d

評価する項目数	評　価

（検　査　職　員）

考 査 項 目	工　種	a	a’	b	b’	c	d	e
３. 出来形及び出来ばえ Ⅱ. 品質	電気設備・電気通信工事	「評価対象項目」 ・ 製作着手前に，品質や性能の確保に係る技術検討を実施していることが確認できる。 ・ 材料，部品の品質照合の結果が品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき，設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ・ 機器の品質，機能及び性能が設計図書を満足して，成績書にまとめられていることが確認できる。 ・ 操作スイッチや表示灯が承認図書のとおり配置され，操作性にすぐれていることが確認できる。 ・ ケーブル及び配管の接続などの作業が，施工計画書に記載された手順に沿って行われ，不具合が無いことが確認できる。 ・ 操作制御関係の機能及び性能が，設計図書の仕様を満足しているとともに，必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 ・ 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成（修繕（改造・更新含む）の場合は，修正又は更新）していることが確認できる。 ・ 完成図書で，定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 ・ 設備の構造において，点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 ・ 設備全体としての運転性能が，所定の能力を満足していることが確認できる。 ・ 設備全体及び各機器において，設計図書に規定した品質及び性能を，工場試験記録により確認できる。 ・ その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） ※ ただし，該当項目が３項目以下の場合は……　c 評価値 ＝ 評価する項目 / 評価対象項目 ×１００ ＝ 0 / 0 ×１００ ＝ [ ] ％					・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば…ｄ	・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。 上記該当あれば…ｅ

評価値が90％以上………………　a
評価値が80％以上90％未満……　a’
評価値が70％以上80％未満……　b
評価値が60％以上70％未満……　b’
評価値が60％未満………………　c

評　価

Ver.D1505

別紙－３ ㉓ ２

（検　査　職　員）

考 査 項 目	工　種	a	b	c	d	
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
3．出来形 及び 出来ばえ Ⅲ． 出 来 ば え	下水道管 更生工事	「評価対象項目」 ・ きめ細かな施工がなされている。 ・ 公共物として，安全性の確保，環境及び維持管理等への配慮がなされている。 ・ 動作状態において，電気的及び機械的な異常が無く，総合的な機能及び運用性が良い。 ・ 当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制され，総合的な性能向上への配慮がなされている。 ・ 操作，保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 ・ 全体的な美観が良い。				確認項目の該当５項目以上　a 確認項目の該当４項目　……　b 確認項目の該当３項目　……　c 確認項目の該当２項目　……　d

評価する項目数	評　　価

（検　査　職　員）

考査項目	工種	a	a’	b	b’	c	d	e
3.出来形及び出来ばえ Ⅱ.品質	消雪工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと，評価値から判断する。〈判断基準参照〉 ｛関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験｝ ※ ばらつきの判断基準は別紙―４参照 ☆ 品質が，試験項目，試験基準及び規格値を満足する。 「評価対象項目」 【削井工・取水施設工】 ・ 材料の品質規格証明書等が整備されている。 ・ 設計図書に示められたとおりにストレーナーの位置が正確に設置されている。 ・ ケーシングパイプの挿入に壁面の崩壊がないことが確認できる。 ・ 充填材に均一な砂利が使われている。 ・ 井戸が鉛直であることが確認できる。 ・ 揚水試験を適切に行い，施工に反映している。 ・ 削井完了後，電気検層により記録が適正に管理されている。 ・ ポンプの据え付け位置が適切である。 ・ 電気設備及びポンプが正常に稼動することが確認できる。 ・ 機器の性能・機能が設計図書どおりであることが確認できる。 ・ 製造者による試験等が的確に行われ，設計図書に適合する証明書が整備されている。 ・ 施工の品質・形状が的確で良好な施工である。 ・ 機器の適切性が確認でき，試験運転の記録が確認できる。 ・ 不可視部分が写真等の資料から適切に施工されたことが確認できる。 【散水工】 ・ コンクリート二次製品の場合は，損傷のないもので，品質，規格が証明書により確認できる。 ・ アスファルトカッターによる舗装切断は，慎重な施工によるやり直しがないことが確認できる。 ・ 掘削面以下を乱さないように入念に施工され，施工基面が平坦に仕上げられている。 ・ 補修痕等がなく，施工方法が適正に行われたことが工事中写真等の記録により確認できる。 ・ ノズルのコンクリート面が平坦に仕上げられ，孔の位置が流動方向を考慮して適切に設置されている。 ・ 既設構造物との取り合い，及び曲線部の施工が適切に行われている。 ・ 鉄筋及びコンクリートの施工が適切に行われている。 ・ 二次製品は，ブロックの接合でねじれがなく，滑らかで，かつ適切な隙間間隔で施工されていることが確認できる。 ・ 現場打ちのノズル位置が適正に設置されていることが確認できる。 ・ 二次製品の設置後の埋め戻しは，締め固めに注意が払われ，適切に行われ，沈下の状況がなく，隣接ブロックと滑らかである。						・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば…d	・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。 上記該当あれば…e

（検　査　職　員）

考査項目	工種	
3.出来形及び出来ばえ　Ⅱ.品質	消雪工事　下水道管更生工事	※ ただし，ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が３項目以下の場合は…… c ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は，評価対象項目だけで評価する。 評価値 ＝評価する項目／評価対象項目×１００ ＝0／0×１００ ＝　　%

●判断基準（品質）

評価値＼ばらつき	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超え	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

評　価

考査項目	工種	a	b	c	d
3.出来形及び出来ばえ　Ⅲ.出来ばえ	消雪工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

「評価対象項目」
- 仕上げが良い。
- 通りが良い。
- 端部処理が良い。
- 既設構造物とのすりつけが良い。
- 全体的な美観が良い。
- 均等に水がまわる。
- 使用者に対する安全及び環境の配慮が適切である。
- 運転及び保守点検に対する配慮が適切である。

確認項目の該当７項目以上　　a
確認項目の該当６項目　……　b
確認項目の該当５項目　……　c
確認項目の該当４項目以下　　d

評価する項目数	評　価

（検　査　職　員）

考 査 項 目	工　種	a	a’	b	b’	c	d	e
３．出来形 及び 出来ばえ Ⅱ． 品 質	下水道工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと，評価値から判断する。〈判断基準参照〉 ｛関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験｝ ※ ばらつきの判断基準は別紙―４参照 ☆ 品質が，試験項目，試験基準及び規格値を満足する。 「評価対象項目」 【共通】 ・ マンホールにおいて出来形管理基準を満足し，連結部には止水シール，止水ゴムが適切に設置されている。 ・ インバートは形状，勾配等が適正で漏水がない。 ・ 防食被覆が入念に実施され，かつ表面が滑らかである。 ・ マンホールにおいて各部材にクラック等がなく，漏水がない。 ・ マンホールの足掛金具の位置，方向，出が適正で，鉄蓋位置については，ガタツキがなく仕上がり，天端高さも適正である。 ・ 材料の品質規格証明書等が整備されている。 ・ 出来形管理基準を満足しており，目立った屈曲や沈下がない。 ・ 管渠において漏水個所がなく，影響を与えるクラックや変形がない。 ・ 管渠継ぎ手部及びマンホール連結部の目地仕上げが良好である。 ・ 不可視部分が写真等の資料から適正に施工されていたことが確認できる。 ・ 埋め戻しにおいて締固めが適正な方法で施工されており，工事終了後に沈下がない。 ・ 材料の品質照合がミルシート等（現物照合を含む）で確認でき，満足している。 ・ 山留工，支保工を適正に施工している。 ・ 管底に水がたまった形跡がない。 【開削工】 ・ 管渠継ぎ手部ボルトの締め付け確認が実施され，適正に記録が管理されている。 ・ 掘削面以下を乱さないように施工している。 ・ 混合物の温度管理が，プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。 ・ 管渠の接合状況が良好であることが確認できる。 ・ 管布設まで保管，管理が適切であることが確認できる。 ・ 施工基面が平滑に仕上げられている。 【推進工】 ・ 防食被覆が入念に施工されていることが確認できる。 ・ 薬液注入工において削孔・注入の状況及び効果が管理資料から確認できる。 ・ 排水処理工において送排泥管の流量測定記録，逸水の管理が適正に実施されていることが確認できる。 ・ 測量及び観測結果を毎日整理し，それに基づいた施工が行われていることが確認できる。 ・ 立孔部の掘削基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 ・ 常に切羽及び地表面の状態を観測して施工されていることが確認できる。 ・ 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。 ・ 滑材，裏込材が確実に施工されていることが確認できる。					・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば…ｄ	・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。 上記該当あれば…ｅ

（検　査　職　員）

考査項目	工種	
３．出来形及び出来ばえ Ⅱ．品質	下水道工事	【シールド】 ・溶接作業は有資格者が行っている。 ・二次コンクリート打設前に付着物除去のための十分な水洗清掃を行っていることが確認できる。 ・常に切羽及び地表面の状態を観測して施工されていることが確認できる。 ・シールド推進作業等がデータで確認できる。 ・裏込め注入状況がデータで確認できる。 ・地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。 ・施工基面が平滑に仕上げられている。

※ ただし，ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が３項目以下の場合は……　c
※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は，評価対象項目だけで評価する。

評価値 ＝ 評価する項目 / 評価対象項目 ×１００ ＝ 0 / 0 ×１００ ＝　　%

●判断基準（品質）

評価値＼ばらつき	ばらつきで判断可能 50%以下	80%以下	80%を超え	ばらつきで判断不可能
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

評　価

考査項目	工種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
３．出来形及び出来ばえ Ⅲ．出来ばえ	下水道工事	「評価対象項目」 ・通りが良い。 ・漏水がない。 ・マンホールのインバートの仕上げが良い。 ・マンホール天端と路面のすりつけが良い。 ・埋戻し後の路面復旧の状態が良い。 ・施工管理記録から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 ・端部処理が良い。 ・全体的な美観が良い。			

確認項目の該当７項目以上　a
確認項目の該当６項目　……　b
確認項目の該当５項目　……　c
確認項目の該当４項目　……　d

評価する項目数	評　価

（検 査 職 員）

考査項目	工種	a	a’	b	b’	c	d	e
３.出来形及び出来ばえ Ⅱ.品質	下水道管更生工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと，評価値から判断する。〈判断基準参照〉 ｛関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験｝ ※ ばらつきの判断基準は別紙―４参照 ☆ 品質が，試験項目，試験基準及び規格値を満足する。 「評価対象項目」 ・材料の品質規格証明書等が整備されている。 ・不可視部分が写真等の資料から適正に施工されていたことが確認できる。 ・施工表面が平滑に仕上げられている。 ・形成管施工において温度や圧力等の管理が適正に実施されていることが確認できる。 ・裏込めモルタルが適正に施工され，空隙がないことが確認できる。 ・材料の保管，管理が適切であることが確認できる。 ・障害物の処理が適正におこなわれていることが確認できる。 ・形成管の物理試験の結果が確認できる。 ・振動・騒音・汚濁水等により，第三者に被害をおよぼさないよう施工していることが確認できる。					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば…ｄ	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。 上記該当あれば…ｅ

※ ただし，ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が２項目以下の場合は…… ｃ

※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は，評価対象項目だけで評価する。

評価値 ＝ $\frac{評価する項目}{評価対象項目}$ ×１００ ＝ $\frac{0}{0}$ ×１００ ＝ ［ ］ %

●判断基準（品質）

評価値＼ばらつき	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超え	
90%以上	a	a’	b	b
75%以上90%未満	a’	b	b’	b’
60%以上75%未満	b	b’	c	c
60%未満	b’	c	c	c

評　価

別紙－３ ㉖ ２

（検　査　職　員）

考査項目	工　種	a	b	c	d	
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
３．出来形 及び 出来ばえ Ⅲ．出来ばえ	下水道管更生工事	「評価対象項目」 ・小構造物にも細心の注意が払われている。 ・きめ細かな施工がなされている。 ・既設構造物とのすり付けが良い。 ・全体的な美観が良い。 ・施工管理記録から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。			確認項目の該当４項目以上　a 確認項目の該当３項目　……　b 確認項目の該当２項目　……　c 確認項目の該当１項目以下　d	

評価する項目数	評　　価

別紙－３㉗　１

（検　査　職　員）

考査項目	工　種	a	a’	b	b’	c	d	e
3．出来形及び出来ばえ Ⅱ．品品質	試掘工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと，評価値から判断する。〈判断基準参照〉 ｛関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験｝ ※ ばらつきの判断基準は別紙―４参照 ☆ 品質が，試験項目，試験基準及び規格値を満足する。 「評価対象項目」 【共通】 ・仕様書で定められた品質管理が実施されている。 ・成果図，成果写真が適切に整理されている。 ・埋め戻し，締固めを適切な条件で施工している。 ・混合物の温度管理が，プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。 ・舗設後，直ちに供用する必要のある現場で，交通解放時の温度管理を適切に行っている。 ・気象条件に適した混合物の運搬方法，舗設作業（締め固め等）の配慮が行われている。					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば…ｄ	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。 上記該当あれば…ｅ

※ ただし，ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が３項目以下の場合は……　ｃ
※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は，評価対象項目だけで評価する。

$$評価値 = \frac{評価する項目}{評価対象項目} \times 100 = \frac{0}{0} \times 100 = \square\ \%$$

●判断基準（品質）

評価値＼ばらつき	ばらつきで判断可能 50%以下	80%以下	80%を超え	ばらつきで判断不可能
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

評　価

別紙－３㉗ ２

（検 査 職 員）

考 査 項 目	工 種	a	b	c	d	
３.出来形及び出来ばえ		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
Ⅲ.出来ばえ	試掘工事 下水道管更生工事	「評価対象項目」 ・ 舗装の平坦性が良い。 ・ 端部処理が良い。 ・ 雨水処理が良い。 ・ 施工管理記録から成果品の出来ばえの良さがうかがえる。 ・ 全体的な美観が良い。				確認項目の該当４項目以上　a 確認項目の該当３項目　……　b 確認項目の該当２項目　……　c 確認項目の該当１項目以下　d

評価する項目数	評　　価

（検　査　職　員）

<table>
<tr><th>考査項目</th><th>工　種</th><th>a</th><th>a’</th><th>b</th><th>b’</th><th>c</th><th>d</th><th>e</th></tr>
<tr><td rowspan="2">３.出来形
及び
出来ばえ

Ⅱ.
品
質</td><td rowspan="2">公園施設
工事</td><td colspan="5">☆ 品質関係の試験結果のばらつきと，評価値から判断する。〈判断基準参照〉
｛関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験｝
※ ばらつきの判断基準は別紙―４参照
☆ 品質が，試験項目，試験基準及び規格値を満足する。</td><td rowspan="2">・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。

上記該当あれば…ｄ</td><td rowspan="2">・ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。

上記該当あれば…ｅ</td></tr>
<tr><td colspan="5">「評価対象項目」
【共通】
・ 設計図書に基づく各種材料の品質証明が整備されている。
・ ＪＩＳ規格外品について，仕様書に規定する規格，品質を満足している。
・ 石積み，二次製品側溝等の材料のかみ合わせ又は連結が適正で，裏込め材料等の沈下，崩壊又は漏水のおそれがない。
・ 雨水等のたん水が生じないように排水対策を実施していることが確認できる。
・ 盛土材の品質，形状が設計図書に基づくものになっている。
・ 締め固めを適切な条件で施工していることが確認できる。
・ 施工基面は平滑で所定の強度が確保されている。

【舗装】
・ 設計図書に基づく混合物は，配合報告書により適切な配合規格が確認できる。
・ クレー（混合土）表層材料の混合が入念に行われ，品質が均一であることが書類等で確認できる。
・ 平板，レンガ，タイル舗装等の目ずれがなく，共通仕様書等に定められたとおり処理されていることが確認できる。
・ 構造物周辺の締め固め等で適切な転圧機械を使用し，入念な施工が実施されている。
・ 排水勾配が適正に守られ，水溜まりが生じていない。

【付帯設備工】
・ 製品・機器の機能，性能が確認でき，満足している。
・ 地下埋設物が設計図書に基づき適正に施工されており，記録により確認できる。
・ 遊戯施設等の構造物の設置では，ひずみ，歪み，ふれがないように，堅固に基礎に取り付けられている。
・ 位置，方向，高さ，勾配等について，前後の施設又は地形になじみよく施工されている。
・ 呑口，吐口，集水桝等の取り付けコンクリートにクラック等の欠陥がない。</td></tr>
</table>

（検　査　職　員）

3．出来形及び出来ばえ　Ⅱ．品質　公園施設工事

※ ただし，ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が３項目以下の場合は…… c
※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は，評価対象項目だけで評価する。

評価値 ＝ 評価する項目／評価対象項目 ×１００ ＝ 0／0 ×１００ ＝ ［ ］ %

●判断基準（品質）

評価値＼ばらつき	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超え	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

評　価

下水道管更生工事

考査項目	工種	a	b	c	d
3．出来形及び出来ばえ Ⅲ．出来ばえ	公園施設工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

「評価対象項目」
- 構造物周辺の雨水処理が良い。
- 既設構造物とのすり付け状況や位置関係が良い。
- 施工管理記録から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。
- 小構造物にもきめ細かな施工がされている。
- 全体的な美観が良い。

確認項目の該当４項目以上　a
確認項目の該当３項目　…… b
確認項目の該当２項目　…… c
確認項目の該当１項目以下　d

評価する項目数	評　価

別紙－３ ㉙ １

（検　査　職　員）

考査項目	工　種	a	a’	b	b’	c	d	e
3.出来形及び出来ばえ Ⅱ.品質	その他の工事又は合併工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと，評価値から判断する。〈判断基準参照〉 ｛関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験｝ ※ ばらつきの判断基準は別紙―４参照 ☆ 品質が，試験項目，試験基準及び規格値を満足する。 「評価対象項目」 ・考査項目記述（　　） ・考査項目記述（　　） ・考査項目記述（　　） ・考査項目記述（　　） ・考査項目記述（　　） ・考査項目記述（　　） ・考査項目記述（　　） ・考査項目記述（　　）					・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば…d	・品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が文書で修補指示を行った。 上記該当あれば…e

※ ただし，ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が２項目以下の場合は…… c

※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は，評価対象項目だけで評価する。

評価値 ＝ $\frac{評価する項目}{評価対象項目}$ ×１００ ＝ $\frac{0}{0}$ ×１００ ＝ 　　%

●判断基準（品質）

評価値＼ばらつき	ばらつきで判断可能 50%以下	80%以下	80%を超え	ばらつきで判断不可能
90%以上	a	a’	b	b
75%以上90%未満	a’	b	b’	b’
60%以上75%未満	b	b’	c	c
60%未満	b’	c	c	c

評　価

別紙－３ ㉙ ２

（検　査　職　員）

考査項目	工　種	a	b	c	d	
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
3．出来形及び出来ばえ Ⅲ．出来ばえ	下水道管更生工事	「評価対象項目」 ・考査項目記述（　　　） ・考査項目記述（　　　） ・考査項目記述（　　　） ・考査項目記述（　　　） ・考査項目記述（　　　） ※ 該当工種からの考査事項で考査し，最大考査項目は５項目とする。				確認項目の該当４項目以上　a 確認項目の該当３項目　……　b 確認項目の該当２項目　……　c 確認項目の該当１項目以下　d

評価する項目数	評　価